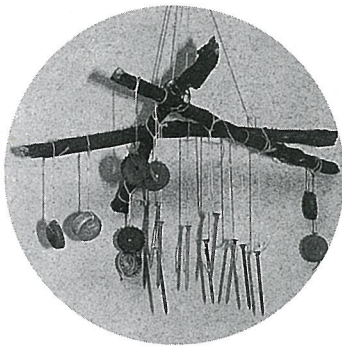




4年 越川文恵さん

※工夫したのは、
ビンのふたで
す。きれいな
音が出るよう
に作りました。

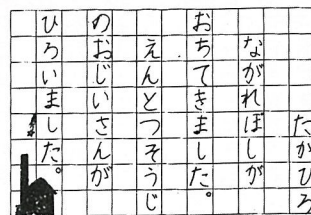


『風の音(風鈴)』



1年 すずき たかひろくん

※ひとつひとつ
のしを、てい
ねいにかきま
した。



『けむりのきしゃ』

あつまれ みんなの 力作



『三びきのくま』



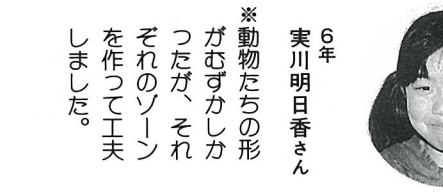
5年 越川由香さん

※この絵をぬる
時、どんなく
ふうをしよう
かまよつたが
よく書けまし
た。



2年 布施沙弥香さん

※ボタンの色を
変えたり、色
を工夫して、
好きな絵をた
くさんかきま
した。



『動物たちの公園』



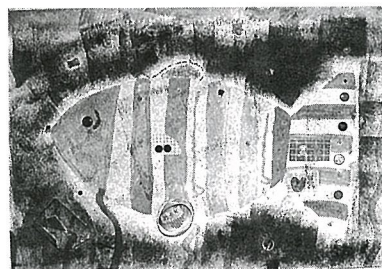
6年 実川明日香さん

※動物たちの形
がむずかしか
つたが、それ
ぞれのゾーン
を作って工夫
しました。



3年 山ノ先千翼さん

※ローラーを使
つて、光るイ
メージで作り
ました。すな
えのすなも使
いました。



『しましまっぼ』



ひかり歌壇



奇岩海に並びつき出ず走り

岩潮ひく浅瀬熊野路を行く

目新しい景が鮮明に表現され結句がきえています。

鈴木甲子幸 (白磯)

伊藤 鏡子 (虫生)

提防の日向なだりに犬ふぐり

瑠璃色楚々と魁けて咲く

早春の路傍を飾る犬のふぐりに作者の優しい眼差しが注がれました。

越川 福子 (宮内)

一本に五輪の牡丹綺羅きそひ

花芯あらわに咲きしずもれり

庭の牡丹による深い愛着がよく表現されています。

土屋 好 (虫生)

若草のすくすく伸びる葦群に

雛の居るらし葦切りの声

開発に追はれて葦切り居場所がなくなりかの饒舌も聞かれなくなりました。

評者 竹内 紀葉

曾て吾が掌に馴染みたる鉄鎌も使ひこなせず八十を過ぐ